

移動市長室

筑紫野経済同友会 ―地域の活性化を図る取り組み―

通算73回目となる移動市長室を、10月24日(火)に開催しました。筑紫野経済同友会と懇談を行い、林田会長をはじめ35人の出席がありました。

● 問い合わせ先 秘書広報課



地域の発展のために活動

筑紫野経済同友会は、昭和60年2月の設立以降、商工業者に関する諸問題を調査研究し、会員の共通課題の研修とその実践を展開、会員相互の向上と親睦を図り、地域経済の発展に寄与することを目的に活動し、平成29年9月現在の会員数は71人です。

過去2回実施した移動市長室では、天拝公園や二日市温泉の活用に対する提案を受け、地域活性化についての意見交換を行ったり、本市のこれからの展望や重点施策についての意見を交換したりなど、魅力あるまちづくりに向けた懇談をしました。

今回の懇談では、同友会の取り組みについての報告を受け、その後、筑紫野市からの施策概要報告および重点施

策などに対する意見交換を行いました。思いが詰まった、アジサイ園
平成26年の設立30周年を記念して作成されたDVDを使って、積み重ねてきた同友会の歴史や30周年記念事業として取り組んだ天拝公園アジサイ園のリニューアルについての報告がありました。リニューアルのスタートから工事中の様子、もともとの400本に新たに340本を加え、計740本のア



ジサイを植樹、整備した活動などの紹介を受けました。

そして、移植したアジサイが多くの花をつけるようになってきたこと、今年3月頃から多くの人々の協力のもと、約8000個のレンガを手作業で並べ、自由に観賞できるよう園路などを整備したこと、6月10日にはアジサイ園の開園式を行ったことの説明がありました。

筑紫野市を盛り上げていくために

立川生志師匠の「筑紫野市ふるさと親善大使」委嘱は、同友会の活動がきっかけであったこと、夏休みの思い出と日本の伝統芸能である落語文化に触れる機会を持ってもらうため、8月に行われた第11回ちくしの寄席立川生志「ふるさと応援」落語会へ市内の中学校・高校の生徒を招待したことの報告も受けました。



市政の重要な施策について交流

市からは、施策概要報告として、本年度予算や第五次総合計画などについて説明をし、その後、第五次総合計画における重点施策を中心に4項目の意見交換を行いました。市庁舎建設に関してはレイアウトや工事の進捗状況などについて、それから、自主防災の取り組みと地域コミュニティの関わり、高尾川・鷺田川の河川改修の進捗状況、

天拝公園整備についての質問を受け、それぞれ回答を行いました。

最後に、これまでに出た話をまとめる形で、少子高齢化が進む中、地域の宝である子どもたちを生み育てやすいまちづくりや重点施策の取り組みなどについて、市長が総括を行い、議論を深めることができました。

懇談の中での意見は、今後の市政に生かしていきます。

参加者からの感想

- ・質問に対し、スライドなどを使って答えてもらったので、わかりやすく、よい機会となりました。
- ・市庁舎建設について、平成30年11月には完成するという具体的な工期が聞けて安心しました。市民が喜ぶ施設をつくっていただいていることがわかりました。
- ・いろいろな事業をやってきているのに、市の借金が年々減っているという報告に、びっくりすると同時にうれしく思いました。



藤田市長の一言

長年にわたる地域活性化への取り組みを報告いただくとともに、本市が進めている重要な施策などについても意見交換ができ、内容の濃い時間となりました。特に、今年のアジサイ園は開園式を迎え、皆さん方の心がこもり長きに渡る汗と努力の結集した、素晴らしいアジサイ園であったと感謝申し上げます。皆さんの地域を思う気持ちがなければできないことであろうと改めて認識しました。



皆さんのご意見を市政に反映させてまいりますので、今後ともご協力をよろしく願います。筑紫野経済同友会の皆様、本日はありがとうございました。



「憩いの場になれば」という思いで、協力して整備したアジサイ園